

# No. 1425

## 防 災

— 東 京・六本木 —

- ホテルの火災に対する防火設備や対処の仕方が大きな問題となったホテルニュージャパンの火災。
- この大惨事を機会に東京消防庁では都内のホテルなどを対象に一斉査察を実施しました。
- 今回の査察ではスプリンクラー、火災探知器など防火設備の査察の他、実際に深夜の火災発生を想定した、従業員の対処の仕方が消防署員の指導のもとに行なわれました。ひとたび発生すると大惨事にもなりかねないとあってみんな真剣そのもの。再び大惨事を繰り返さめためにも防火体制の徹底が望まれます。

## 増 田 快 走

— 中日スピードマラソン —

中日名古屋スピードマラソン第3回女子20キロロードレースは、3月7日、名古屋市瑞穂北競技場を発着点とする公認コースで行なわれました。6メートルを越す強い北風は150センチ、39キロの小柄な増田にとっては、他の選手以上に大敵、しかし“赤い弾丸娘”成田高校の増田明美はアメリカの新鋭キャシー・トーシーと肩を接するデッドヒートを展開。日本とアメリカ二人の死闘は世界最高記録をめざして延々と続きます。18.5キロ地点でトーシーがスパート。トーシーはそのままぐんぐん引き離し、増田に20メートルの差をつけ競技場へ。増田は逆転こそできなかったものの、世界最高記録で、第2位、ロス五輪に夢をいだかせました。

## 補 償 請 求 を 棄 却

— 台湾人元日本兵 —

2月23日、羽田空港に鄧盛さんら5人の台湾人元日本兵士が来日した。台湾人の元兵士、遺族らが日本政府を相手どり「一人当たり500万円の補償をせよ」と訴えている訴訟の判決公判にそなえての来日である。判決の日を前日にひかえた25日、一行は横浜港を訪れた。かって、横浜から台湾へ渡った氷川丸を見物するためである。第2次大戦で日本軍の一員として戦い戦死したり負傷したのに、恩給や遺族年金が全く支払われていない台湾人元日本兵士。去る昭和52年8月以来審理されてきたこの裁判の判決が、2月26日東京地方裁判所で行われました。判決は「戦争損害にいかなる範囲、程度の補償をするかは国の立法政策にゆだねられる」として、原告の請求は棄却された。原告の一人は「日本には道義も信義もない、人情も義理もない国とは思わなかった。実に血も涙もない判決だと思います。」このあと原告団と『台湾人、元日本兵士の補償問題を考える会』の一行は総理府を訪ね裁判だけではなく立法政策による戦後処理を強く要望した。第二次大戦で、日本軍人、軍属として従軍した台湾人は約20万人、だが、この人々に対し法の壁は厚く戦後処理は何一つなされていない。